

【基本情報】

令和 7 年 5 月 1 日現在

氏名（フリガナ）	木林 祥子（キバヤシ ショウコ）
職名	講師
学位	2010 年 修士（開発学）
専門分野	家政・家庭科教育、生活文化、多文化教育
現在の研究課題	家庭科教育における刺し子の教材開発
所属学会	日本国際理解教育学会、服飾文化学会、生活やものづくりの学びネットワーク、日本家政学会
担当科目	家政学概論、消費生活と環境、教養基礎演習、商品開発・企画演習、テキスタイルデザイン実習Ⅰ

【著書】

発行年	著書名	単著/共著	発行所名
2022 年	現代国際理解教育事典 改訂新版	共著	明石書店
2012 年	現代国際理解教育事典	共著	明石書店

【学術論文等】

発行年	論文名	単著/共著	掲載誌，巻，頁
2025 年	家庭科製作実習における教材開発 ー社会に働きかける「刺し子の防災ポーチ」ー	単著	愛国学園短期大学紀要，42， 31 - 47
2024 年	刺し子の技法「一針刺し」の調査	単著	愛国学園短期大学紀要，42， 21 - 36
2022 年	家庭科における国際理解教育の変遷 ー高等学校家庭科教科書の分析ー	単著	愛国学園短期大学紀要，40，9 - 27
2022 年	廃棄衣料削減を目指した産学連携プロジェクト事例 ー裂織とパッチワークキルト技法を用いた防災用品デザイナーー	共著	愛国学園短期大学紀要，40，1ー 8
2021 年	家庭科における生活文化の学びと国際理解教育	単著	愛国学園短期大学紀要，39，15 ー30
2020 年	伝統と現代をつなぐ刺し子作家銀座亜紀枝の技法	単著	愛国学園短期大学紀要，38，45 ー56

【口頭発表】

発表年月	発表テーマ	学会名（開催地）
2010 年	国際理解教育における家庭科教育の役割 ー生活文化の歴史的 understanding からのアプローチー	日本国際理解教育学会第 20 回研究大会（東京）

【講演等】

講演日	タイトル	講演会名等（開催地）
2025 年 3 月 26 日	小中高家庭科教員対象実技講習会 家庭科授業に活用できる作品製作と指導法	生活やものづくりの学びネットワーク東京実行委員会（江戸川区）
2024 年 3 月 28 日	小中高家庭科教員対象実技講習会 家庭科授業に活用できる作品製作と指導法	生活やものづくりの学びネットワーク東京実行委員会（江戸川区）

【学外からの研究費等資金導入状況】

年度	研究テーマ	財源先

【社会における活動】（学会役員・公的機関の審議委員等）

期間	機関名	委員名
2022 年～	生活やものづくりの学びネットワーク 東京実行委員会	委員

【教育・職務に関する履歴】

期間	職名
1995 年 4 月～1997 年 3 月	大阪府立桃谷高等学校講師
1997 年 4 月～1998 年 2 月	成安女子中学校講師
1998 年 4 月～2000 年 7 月	青年海外協力隊入隊セネガル国立社会家族経済教育学校技術指導員
2000 年 9 月～2001 年 2 月	奈良県公立小中学校非常勤講師（3 校）
2001 年 4 月～2002 年 3 月	奈良市立一条高等学校非常勤講師
2002 年 4 月～2005 年 3 月	金蘭会高等学校・中学校教諭
2011 年 4 月～2018 年 3 月	科学技術学園高等学校レポート添削講師・面接指導講師
2014 年 7 月～2020 年 3 月	読売カルチャー北千住「手縫い仕立ての刺し子教室」講師
2014 年 10 月～2020 年 3 月	取手カルチャー「手縫い仕立ての刺し子教室」講師
2016 年 9 月～2019 年 3 月	足立区立第一中学校非常勤講師
2019 年 10 月～2024 年 3 月	愛国学園短期大学非常勤助手
2020 年 4 月～2024 年 3 月	愛国学園短期大学非常勤講師
2022 年 4 月～	愛国高等学校非常勤講師
2024 年 4 月～	愛国学園短期大学講師

【受賞・表彰に関する履歴】

年月	受賞・表彰
2004 年 3 月	第 29 回国際理解教育賞 奨励賞受賞 論文題目「国際理解教育－家庭科からの問いかけ」 帝塚山学院大学国際理解研究所主催